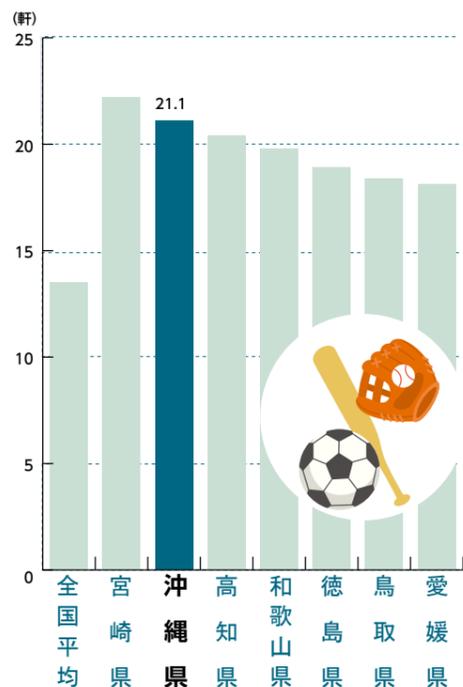


### 【スポーツ用品小売業事業所数】

(2009年・10万人当たり)



# 21.1軒

スポーツショップでは道具だけでなく、ファッション要素の強いウェアやシューズなど、数多くの商品が並んでいる。最近はデザインにこだわる人も多いのではないだろうか。スポーツが盛んな沖縄ではショップの数も多いようだ。

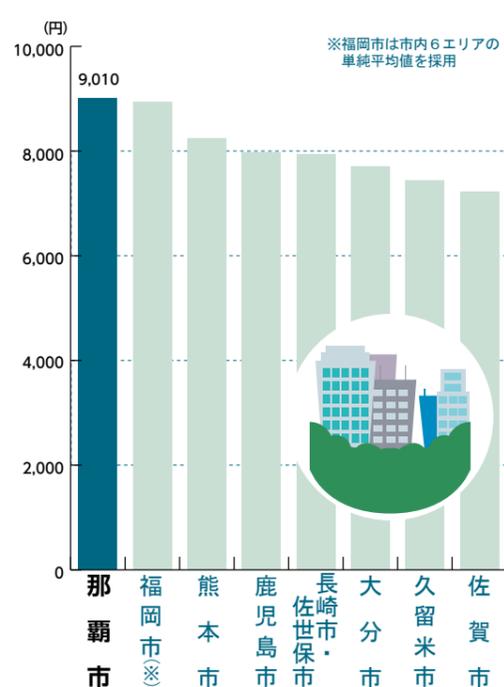
総務省「2009年経済センサス」によれば、沖縄県内に所在するスポーツ用品小売業事業所数は291軒。人口10万人あたりに換算すると21.1軒で、これは全国でも2位の水準となる。上位3県はプロ野球チームのキャンプ地となっているのも興味深い。

健康維持にも日常的な運動は欠かせない。朝夕のウォーキングやランニング、週末に野球やゴルフを楽しむ人も少なくないだろう。

沖縄には大会やイベント、合宿など、県外からも多くの人を訪れる。裾野の広いスポーツビジネスは、今後も沖縄で発展が期待される産業分野のひとつだろう。(海邦総研/新里治史)

### 【賃貸オフィス賃料】

(2013年6月・1坪当たり)



# 9,010円

今、沖縄県は日本で元気のある地域のひとつだといわれている。中心地である那覇市内のオフィスビルやテナントビルには、県内はもとより、本土からも入居の問い合わせや、実際の入居者も増えているようだ。

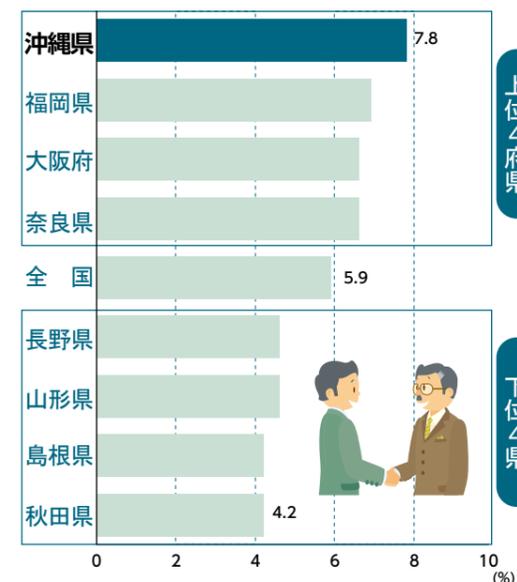
全国の賃貸オフィス賃料をまとめている三幸エステート株式会社によると、那覇市の賃貸オフィスの1坪あたりの賃料は9,010円。これは九州・沖縄の主要11都市の中で1位。賃料も高いうえ、人気の場所になると保証料を数か月分支払わなければならない物件もあるようだ。

那覇市では今も新しいビルの建設が進んでいる。きれいなビルが立ち並び、多くの人が行きかう街並みにはエネルギーを感じる。こうした賃料の高さは、不動産取引活性化のあらわれといえよう。那覇市がまだまだ進化し続ける元気な街という証なのか…。

(海邦総研/中山禎)

### 【新規就業率】

(2012年)



# 7.8%

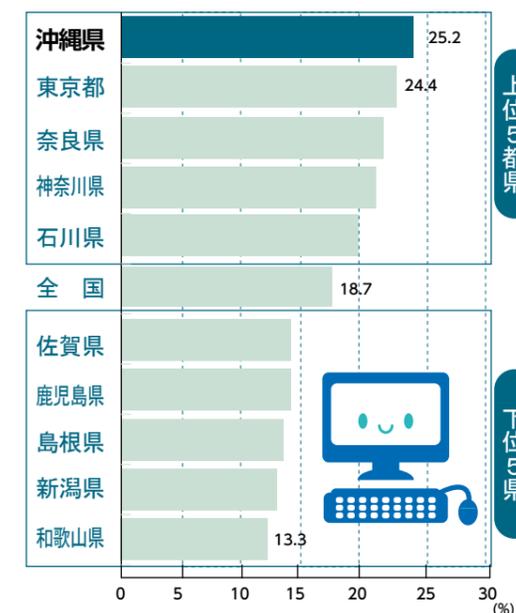
県内の雇用環境は「厳しい」の一言で説明されがち。しかし、データを丁寧にみていくと違った側面も浮かび上がる。

2012年就業構造基本調査によると、県内で仕事をしている有業者数65万人のうち、1年以内に新たに仕事について新規就業者は5万1000人。有業者数に占める割合を示す新規就業率は7.8%となり全国トップだ。順調な経済成長に伴い県内企業において若年層の採用が積極的に行われている証左ともいえ、就業者数などの「仕事の量」は着実に増加傾向にある。

ただ、同調査で県内の離職率は6.7%。07年調査時と比較すると1.0ポイント低下しているものの依然として全国ワースト。非正規労働者の割合も高い。県内の労働環境の改善のためには離職防止や待遇改善など「雇用の質」に焦点を当てた施策が重要になってくるのではないだろうか。(海邦総研/島田尚徳)

### 【動画等のネット配信サービス利用率】

(2012年)



# 25.2%

夏の休日、涼しい部屋でゴロ寝にTVが至福の季節…。近頃はTVやラジオ代わりにスマホやパソコンでインターネットから番組や動画を楽しむ方も増えている。政府、テレビ局、プロバイダーやアプリ等により手頃な料金で番組や動画等が配信される。特にインターネット世代の20代はテレビ視聴よりインターネット動画を観る時間が増えてきているようだ。

総務省「2012年通信利用動向調査」によると、番組・動画のインターネット配信サービスの沖縄県の利用率は25.2%。全体的なサービス利用率で上位を占める東京都を押さえて全国1位だ。利用内訳をみると「オンデマンド型の番組配信サービス」との回答が高い。見たい番組を見たい時に、外出せず手軽に見られる「オンデマンド」。“ふゆ～な～”派にとっては魅力的なサービスだが、視聴の後は適度な運動も是非、お忘れなく。(海邦総研/屋比久有紀)